

うおーみんぐ

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信

No.39 **新****春**



夏休み省エネチャレンジ表彰式（関連記事p.6,7）



ケーブルテレビで地産地消弁当を紹介（関連記事p.5）



事務所にやってきたペレットストーブ（関連記事p.8）



c o n t e n t s

- 2** 特集
知って選んでやってみて！冬の暖房豆知識
- 3** 家庭からのCO₂排出 多いのは夏？冬？
CO₂排出の少ない暖房方法は？
チャートで選ぶ あなたの家にぴったりの暖房方法は？
- 4** CO₂排出量を0以下に！
IPCC第5次評価報告書、第1作業部会報告書
政策決定者向け要約公表
- 5** 第6期地球温暖化防止活動推進員
府内各地で活躍中！part3
- 6** 活動レポート
- 7** 夏休み省エネチャレンジ2013表彰式を開催しました
- 8** 京都環境フェスティバル2013に出展しました
木津川市で京都府産食材マッチング勉強会を開催
- 事務局こぼれ話



京都府地球温暖化防止活動推進センター
Kyoto Center for Climate Actions

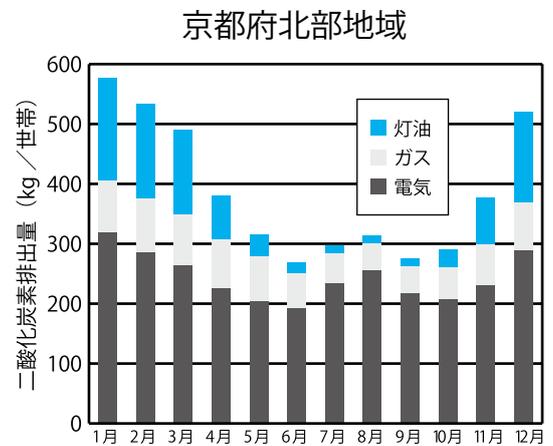
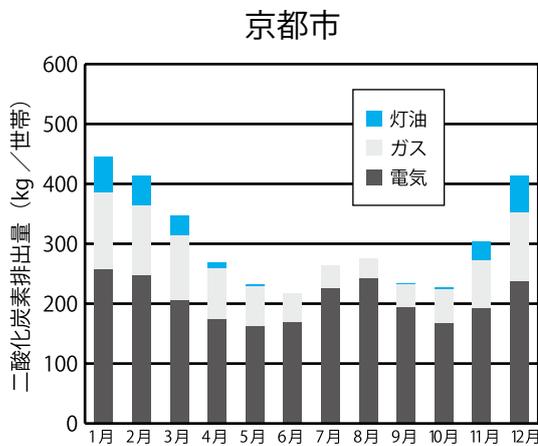
京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

知って選んでやってみて！(冬)の暖房豆知識

家庭からのCO₂排出 多いのは夏？冬？

京都市でも京都府北部地域でも、家庭からのCO₂排出が多い季節は「冬」です。だからこそ、温暖化防止のためには冬に効果的な省エネを実施することがとても重要です。かといって、無理なガマンは禁物。体調を崩してしまったり、命を失ってしまったりしては、元も子もありません。では、どんな選択肢があるのでしょうか。



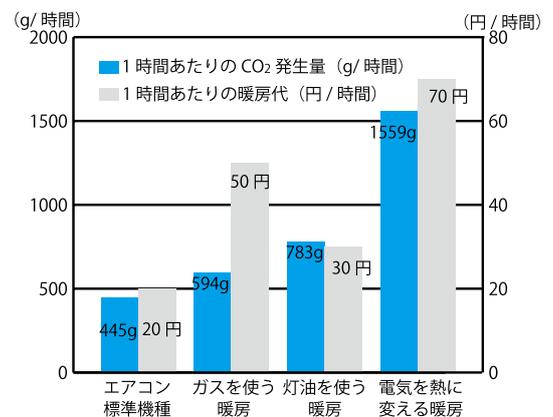
※家計調査より作成 京都府北部平均は福井市と鳥取市の平均値 (提供：ひのでやエコライフ研究所)

CO₂排出の少ない暖房方法は？

部屋の空気を暖める場合、エアコン、ガス暖房、灯油暖房、電気を熱に変える暖房（電気ストーブなど）の内で最もCO₂排出が少ないのはエアコンです。

電気のエアコンも電気ストーブも、同じ「電気」を使う暖房なのに、なぜこんなことがおこるのでしょうか。それは、エアコンは「ヒートポンプ」という技術を使い、外気の中の熱を効果的に室内に取り込むことができるから。実は、使ったエネルギーの何倍もの熱を取り込むことができます。

暖房機器別CO₂発生量と暖房代



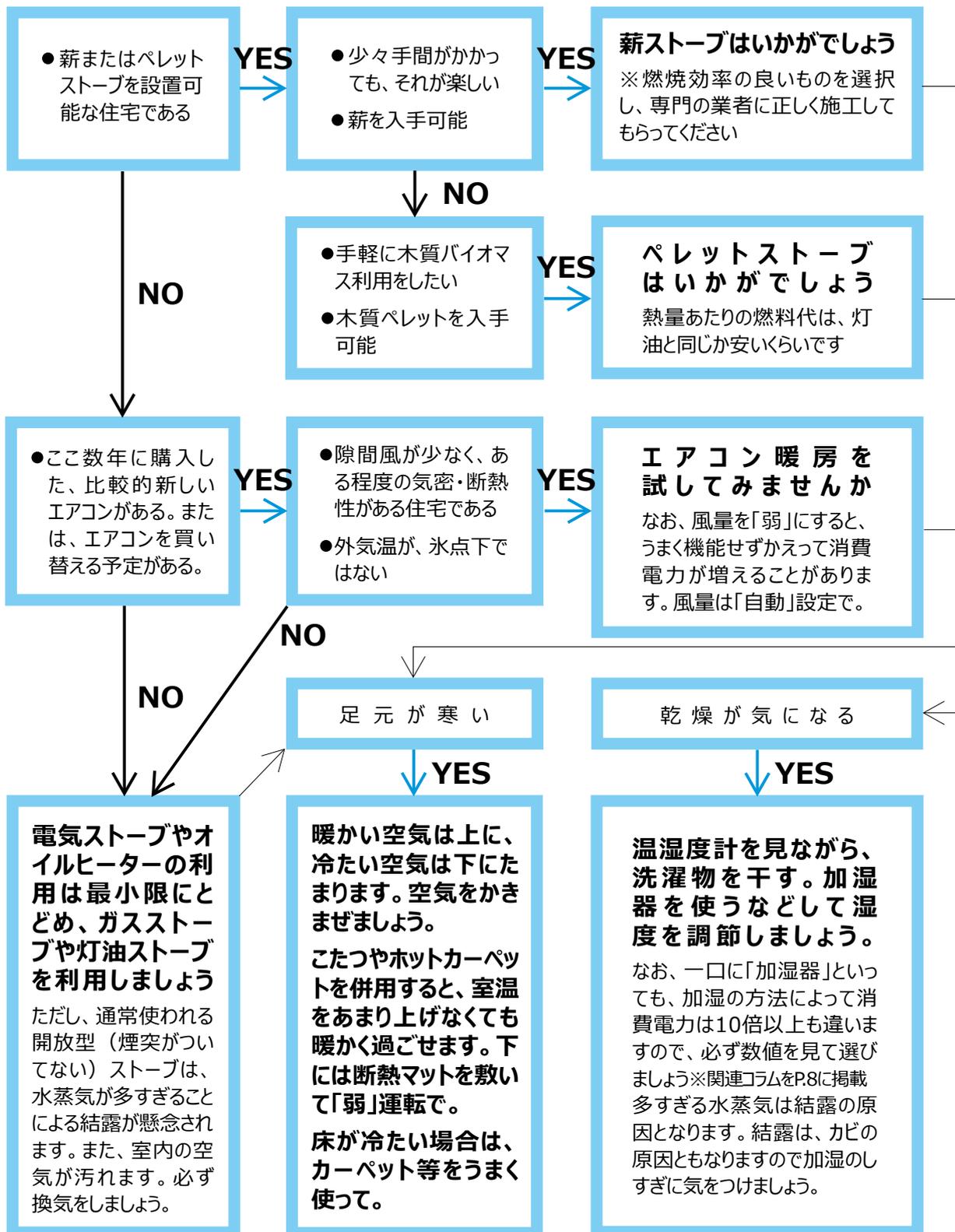
※8畳間、外気温0℃時、木造住宅における暖房負荷による計算 電力CO₂係数 0.5kg-CO₂/kWh、エアコンのCOPは3.5として計算 出典) ひのでやエコライフ研究所推計

※注意：上記の数値は、外気温が0℃の時を想定して算出されています。極端に寒い時にはこれより効率が落ちます（暖房できないわけではありません）。

チャートで選ぶ あなたの家にぴったりの暖房方法は？

どんな暖房をどう使うと省エネなのでしょう
か。
チャートにしてみました。

YES → NO →



CO₂排出量を0以下に!?

IPCC第5次評価報告書、第1作業部会報告書 政策決定者向け要約公表

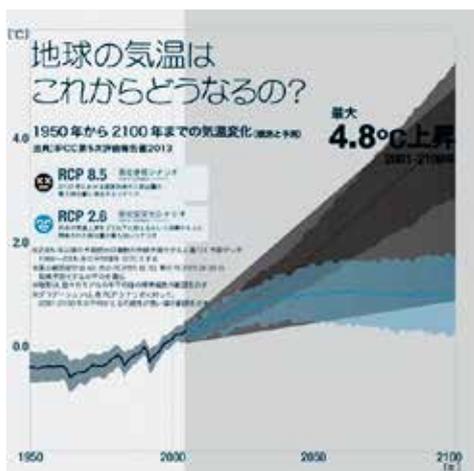
平成25年9月27日に、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、第5次評価報告書第1作業部会報告書（自然科学的根拠）政策決定者向け要約を公表しました。この政策決定者向け要約から、いくつかのポイントを拾ってみましょう。

▶ 「温暖化を人間が起こしている」確度は95%以上

『人間による影響が20世紀半ば以降に観測された温暖化の最も有力な要因であった可能性が極めて高い』と記載されています。「極めて高い」は95～100%を示すと定義されており、この表現は第4次評価報告書の「非常に高い」（90～100%）からさらに踏み込んだものです。

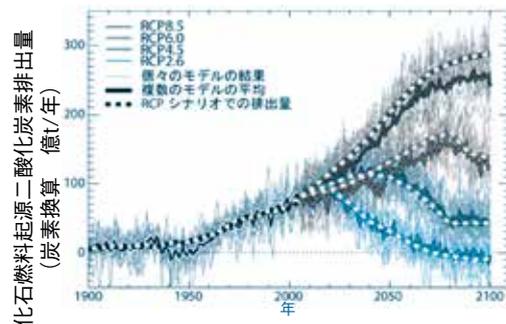
▶ RCP（代表的濃度経路）シナリオが初めて示された

シナリオ	1986～2005年を基準とする 2081年～2100年までの気温変化	
	平均	可能性の高い範囲
RCP2.6	1.0	0.3～1.7
RCP4.5	1.8	1.1～2.6
RCP6.0	2.2	1.4～3.1
RCP8.5	3.7	2.6～4.8



第4次報告書では、社会的・経済的な将来像をいくつか想定し、それに基づいて将来の気候を予測していましたが、このシミュレーションでは排出削減対策を考慮できませんでした。それに対し、今回の報告書では、放射強制力（地球温暖化を引き起こす効果）をもたらず温室効果ガス濃度等がどのように変化するかを仮定したシナリオ（RCPシナリオ）を用いてシミュレーションが行われました。このため「気温上昇を0℃に抑えるために、どんな対策を実施するか」という検討が可能となりました。各シナリオによる気温上昇予測は、表の通りです。

▶ 化石燃料由来の二酸化炭素排出量を0未満に



産業革命以降の気温上昇を2℃未満に抑えることが目指されています。気温は、1880～2012年の期間にすでに0.85℃上昇していますので、これからの気温上昇を1℃程度に抑える必要があります。これにほぼ対応するのが、RCP2.6シナリオです。

グラフから、RCP2.6シナリオを実現するためには、CO₂排出量を早い時期に減少に向かわせ、0またはそれ以下にする必要があることがわかります。

報告書では、気温上昇がCO₂の累積排出量によって決まることが説明されており、CO₂以外の効果も考慮すると、産業化前からの世界平均気温上昇を（66%以上の確率で）2℃以内に抑えるためには、790GtCの累積排出量が上限になると記述されています。2011年までに、既におよそ515GtCが排出されていますので、今後排出が許される量は多くありません。

「シンプルにまとめた情報を読みたい、見やすいグラフを入手したい」という方はこちら

全国温暖化防止センター 特設サイト

<http://www.jccca.org/ipcc/ar5/wg1.html>

JCCCA IPCC 第5次 特設

Q 検索

政策決定者向け要約（暫定日本語訳 45ページ）を読みたい方はこちら

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/ipcc/ar5/>

IPCC 第5次 気象庁

Q 検索

まとめ：木原浩貴



地元ケーブルテレビ番組で温暖化防止活動発信中

京 丹波町では、現在6名の地球温暖化防止活動推進員が活躍しており、イベントでの啓発活動や、口丹地区（亀岡市、南丹市、京丹波町）の小学校への出前授業（南丹保健所の「未来っ子地球温暖化防止教室」事業）などを担っています。推進員がきっかけを作った廃食油回収も、和知で2か所、瑞穂で5か所に広がりました。

廃 食油回収は、平成18年から始まりました。京丹波町質美地区では、大みそかに質美八幡宮の竹灯籠を灯すイベント「ミヤナリエ」で廃食油から作ったロウソクを灯しながら、地元の自然環境の保全を呼びかけており、毎年恒例行事になっています。また、平成24年の秋には、廃食油から精製したバイオディーゼル燃料を、9件の農家さんにトラクター等で試用してもらいました。（①）。

質 美地区では、さらに廃校になった質美小学校を利用して「喫茶ランチルーム」を開き、週末には地元食材を使った「しつみランチ」が提供されます（②）。このランチルームの運営スタッフにも推進員さんが参加し、地産地消の実践も進めています。「担当週のメニューを考えるのが一苦労なの」とは、ある推進員さんのコメント。しかしそのお顔は笑顔でいっぱい、楽しみながら活動されていることが伝わってきます。

「喫茶ランチルーム」には、南丹地区の推進員連絡会で作ったチラシ（③）もさりげなく置かれており、地元での活動に温暖化防止の意識を持って取組まれていることが分かります。

平 成25年度は、これまでの活動に加えて、京丹波町広報のケーブルテレビの「クローズアップ京丹波～ワイド～」の番組作り（番組時間42分）に推進員全員が協力、温暖化防止活動などを伝えるレポーターとしても活躍中です。番組名は「おしえて☆エコライフ」で、京丹波町の番組制作スタッフとともに、推進員さんは番組の内容検討からレポーターまでを担当し、今年8月からこれまでに3本の番組が放映されました。

8 月の番組では、京丹波町のクールスポットを紹介。神社やプールなど、外での涼の取り方を伝えました（④）。11月には、『道の駅七彩（なないろ）駅弁』（注）のうちの京丹波町で開発された3つの地産地消弁当を紹介しました。食材の生産者や販売者の取材とともに地産地消が温暖化防止になることを宣伝しました。12月の番組では、琴滝LEDイルミネーションイベント「冬ホテル」の準備風景を紹介しました（⑤）。

今後も京丹波町での地球温暖化防止の伝道師としての活躍が期待されます。 まとめ：西澤浩美

（注）道の駅七彩（なないろ）駅弁とは、京都丹波地域（亀岡市、南丹市、京丹波町）にある7つの「道の駅」が連携して、地元食材を使った新たな「駅弁」を開発し、京都丹波地域の活性化につなげようとする京都府の取組です。



1



3



2



4



5

report

1

2013/12/15

夏休み省エネチャレンジ2013
表彰式を開催しました

京都府と京都府温暖化防止センターは、2013年度も、夏休み省エネチャレンジ事業を実施しました。この事業は、小学校とその保護者に夏休みの1週間省エネを実践してもらう取り組みです。

多くの皆さまのご協力の結果、2013年度も参加世帯数が増加し、17,338世帯に取り組んでいただくことができました。これは、家族人数で考えると約5万人以上の方にご参加いただいたこととなります。

夏休み省エネチャレンジの実施にあたって、優秀な結果をおさめた小学校を表彰する「学校参加キャンペーン」も実施。12月15日に京都環境フェスティバル2013のステージイベントで表彰式を行い、京都府知事からの賞状が授与されました。

また、キャンペーンにあたっては、エスペック株式会社、大阪ガス株式会社、株式会社京セラソーラーコーポレーション、ケニス株式会社より、学校での環境教育に活用できる教材を特賞としてご提供いただき、各部門の優秀校1校ずつへ贈呈しました。

夏休み省エネチャレンジ参加小学校と参加世帯数の推移



↑表彰式の参加者で記念写真

優秀校

※右記結果はすべて学校参加
キャンペーン参加学年のみ【参加児童率部門】
(参加児童率第1位)

綾部市立志賀小学校
綾部市立西八田小学校
綾部市立物部小学校
井手町立多賀小学校
宇治市立笠取小学校
宇治市立笠取第二小学校
木津川市立恭仁小学校
木津川市立棚倉小学校
京都女子大学附属小学校
久御山町立御牧小学校
南丹市立富本小学校
南丹市立摩気小学校
南丹市立新庄小学校
南丹市立鶴ヶ岡小学校
福知山市立川合小学校

(五十音順) の計15校 (参加児童率100%)

【参加世帯数部門】
(参加世帯数第1位)

大山崎町立大山崎小学校
(575世帯)

【二酸化炭素削減量部門】
(削減二酸化炭素量第1位・2位)

大山崎町立大山崎小学校
(約1t402kg [1,402kg] -1位)
綾部市立綾部小学校
(約1t360kg [1,360kg] -2位)

【平均得点部門】
(平均得点数第1位)

宇治市立笠取小学校
(約91.5点)

特
賞
受
賞
校

1) **エスペック賞**／ゴーヤ先生の授業とみどりのカーテン／大山崎町立大山崎小学校（参加世帯数部門）



1

2) **大阪ガス賞**／燃料電池実験セット／宇治市立笠取第二小学校（参加児童率部門）



2

3) **京セラ賞**／太陽光発電体験キット／綾部市立綾部小学校（二酸化炭素削減量部門）



3

4) **ケニス賞**／手回し発電機10個セット／宇治市立笠取小学校（平均得点部門）



4

[50音順]

report

2

2013/12/14,15

京都環境フェスティバル2013 に出展しました

毎年恒例の環境フェスティバルに今年もブースを出展し、地球温暖化防止に関する啓発を行いました。今年は当センターが所有している「貸出しできる環境教育教材」の展示に力を入れ、来場者や出展団体の方に利用を呼びかけました。京都府内で、温暖化防止に関係のある活動で使っていただけるのであれば、どなたにでも無料で貸出をしていますので、関心のある方はぜひともご利用ください。詳しくはホームページまで。http://www.kcfca.or.jp/

この他にも夏休み省エネチャレンジの結果の展示や、今年の秋からはじまった京都府産木材の内装材に関する新しい助成制度のPRなどを行いました。



環境教育教材の展示 ←



ブース全体の様子 ←

2013/11/7

木津川市で京都府産食材 マッチング勉強会を開催

11月7日、木津川市内の「ギャラリーカフェ人と木」を会場に、京都府産食材勉強会を開催し、保育園関係者を含む15名にご参加いただきました。

勉強会の前半は、旬の地元食材を食べることが地球温暖化防止につながるということについて学ぶ講座を行いました。また、地元木津の野菜生産の担い手および、舞鶴の水産流通の担い手をゲストスピーカーに招き、お話をうかがいました。

後半は、木津川市産の当尾ごぼうや里芋、蓮根、舞鶴産のカマスやニギス、ワカメ、煮干しなどを使った料理の試食を行った上で、地元産食材

利用をすすめるための意見交換を行いました。

今後、保育園を含む様々な施設で、京都産の旬の食材が導入されフードマイレージCO₂の削減が進むのではと期待しています。

地元産食材を確認→

勉強会の様子↓



事務局
こぼれ話

■親切な方が、事務所にペレットストーブを寄贈してくださいました。毎日元気に稼働し、事務所を暖めてくれています。完全燃焼しますので（着火時以外は）煙は見えません。



■事務所の加湿器の消費電力を計ってみました。通常の運転では200W。「省エネ」ボタンをぼちっと押すと12Wに激減しました。加熱の有無による蒸発量の違い、あるいは衛生面での違いなどがあり単純に比較するのは良くないのですが、それにしても大きな違いですね。（消費電力計は無料貸出（送料のみで負担ください）を行っていますので、自分の家の機器の消費電力を計ってみたい方はご連絡ください。）



京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うおーみんぐ」

（平成26年新春号 平成26年1月発行（年4回発行））

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター
（特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議）
理事長：郡嶋 孝
〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町41番3
TEL：075-803-1128 FAX：075-803-1130
URL：http://www.kcfca.or.jp E-mail：center@kcfca.or.jp

編集：木原浩貴 川手光春 竹花由紀子 西澤浩美 淵上佑樹

法人の活動を支えてくださる会員を募集しています！
 年会費 正会員（個人）：2,000円 正会員（団体）：3,000円
 準会員（個人）：2,000円 準会員（団体）：3,000円
 賛助会員：10,000円
 詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率100%の再生紙に、植物油インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

